

## 合唱・合奏の演奏実演 ～半世紀以上にわたる音楽演奏分野による生涯学習参画～

教育学部 音楽教育専攻教員 佐々木直樹・小坂達也・河添達也

島根大学教育学部の音楽専攻学生と教員によって結成された島根大学管弦楽団は、昭和26年（1951年）11月に松江市公会堂で初めての演奏会を行なったとの記録がある。昭和29年（1954年）に、中国地方における音楽教育の基幹学部として島根大学教育学部に特音課程が設置され、翌年から定期演奏会と銘打ち、合唱・吹奏楽・オーケストラの授業成果発表の場を兼ねて、今日まで60年以上にわたってその活動を継承している。西洋音楽の全国的普及によって、全国の国立大学で特音課程の名称は用いられなくなったが、島根大学においては実技重視のカリキュラムがそのまま伝承されており、合唱や合奏も授業の一貫として今日まで存続している。定期演奏会の運営は、学生スタッフが主体となって開催し、管弦楽の定期演奏会は「まつえ市民大学・共通カレッジ」の1コマとしても、広く一般市民に公開されている。

これまで海外公演を含め、中国地方各県への演奏旅行も度々行なっているが、特に近年は、学校を訪問する「アウトリーチ活動」に力を入れている。飯南町内すべての小・中学校の児童・生徒を対象とした音楽鑑賞教室や、雲南市で行われる「熱狂・うんなん」における病院等での合唱、しまね文化振興財団や松江市が主催するミュージカルの演奏などにも参画している。

下記は、近年の合唱・吹奏楽・管弦楽の定期演奏会の模様。

